

赤外線熱画像装置 (TVS-8500)

赤外線熱画像装置は、対象物から出ている赤外線放射エネルギーを検出し、見かけの温度に変換して、温度分布を画像表示する装置とその方法のことをいいます。この装置の特徴は(1)面の温度分布として捉え、可視化情報として表示できる。(2)対象物から離れたところから、非接触で温度測定ができる。(3)リアルタイムで温度計測ができる等です。本装置は、赤外線検出素子の中で物性的に最高レベルの感度と応答速度を持ったインジウムアンチモン(InSb)の2次元センサを搭載しており微妙な温度変化や瞬間的に変化する熱現象を計測・記録することが可能です。



主な仕様

項目	仕様
測定温度範囲	-40℃～900℃
最小温度分解能	0.025℃以下(30℃黒体炉にて)
温度精度	対象物温度 100℃以下: ±2℃ / 対象物温度 100℃以上: ±2%
フレームタイム	最高 1/120 秒
検出素子(冷却方式)	InSb FPA(256×256 素子)(スターリングクーラー方式)
検出波長	3.5～4.1 μm 4.5～5.1 μm(ツインピークス)
測定視野角	14.6° H×13.7° V(標準レンズ使用時)
機能	多点温度表示(5 点)、ズーム表示(×2、×4)、アcisoサム表示、最高/最低温度表示、プロファイル表示、9画面ギャラリー表示 フリーズ機能、日付時刻表示、表示配色選択
オプション	近接拡大レンズ、高温フィルター(2000℃対応)